



CHIBA
UNIVERSITY

取材依頼

平成27年12月18日
国立大学法人千葉大学

2019年道徳「教科化」を見据えて 「社会参画への第一歩」を 千葉大附属中 新指導要領の内容を反映した プロジェクトを始動！

千葉大学教育学部附属中学校では、教材を読むことが中心の形式化した現行授業からの脱却を図り、道徳の教科化を見据え、全校生徒を対象とした「道徳」の実施を位置づけ、千葉大附属中学校ならではの発展的な道徳プロジェクトを今年度から試行しており、その第2弾を12月21日に実施します。

■本講演について

道徳教育の価値項目にもある、真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていくことや、生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重すること、そして、勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努めることに関して、環境予防医学の観点から森千里教授に、中学生にもわかりやすいお話をさせていただきます。



【日 時】12月21日(月) 13:45~14:30
【場 所】千葉大学教育学部附属中学校 アリーナ
【テーマ】「未来世代の君たちへ」
【講 師】森 千里 千葉大学大学院医学研究院 環境生命医学 教授

森 千里(もり・ちさと)

1960年生まれ。旭川医科大学卒業後京都大学で医学博士号取得。
米国留学を経て、2001年千葉大学に解剖・発生学と環境医学を融合した環境生命医学教室を立ち上げた。現在、化学物質のヒトへの健康影響問題に取り組み、「未来世代」をキーワードに「胎児を基準とした環境予防医学」を提唱。近著に「鷗外と脚気」。

■発展的な道徳プロジェクト～つながりタイム～について

【第1弾（夏休み前に実施）】

ミニ番組「Don't forget 僕らをつなぐあの日の記憶」を視聴し、石巻市からの「ど根性ひまわり」の種の贈呈式を行いました。ねらいは「温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心を持つ。」でした。このミニ番組は、国語選択授業で生徒が制作したもので、東日本大震災の際、4年前の先輩たちが読売新聞に応援川柳を発信したことでつながりを持った石巻市について、その過程と復興の様子を後輩に引き継ぐ内容となっています。生徒会が呼びかけ、ボランティア生徒を募り、ど根性ひまわりを実際に育て、文化祭では来場者に説明付きで種を配りました。このように、第1弾では「考え、議論する道徳」から、実際には生徒の「判断」「行動」まで行きつかせるとともに、体験を伴わせることができました。

【第2弾（今回）】

同じ千葉大学で学んでいるメリットを活かし、各学部や大学院の教授を講師にお招きし、幅広いお話の中から、ご専門の研究分野やこれまでのご経験などを通して、道徳の価値項目にのっとった講話をさせていただきます。人の縁やつながりを意識し、思いやりの気持ちを育み、自分たちを取り巻く環境の「内」から「外」の世界へと、視線を向けさせることを狙いとしています。

【今後】

来年度からは、7月の回は生徒会が自主的に発案し、企画、運営していく部分を入れての、全校への投げかけや討論の時間に発展させ、思いを発信させていく時間とし、12月の回は教授からの講話形式を続けていく予定です。

本件に関するお問い合わせ先

千葉大学教育学部附属中学校：道徳プロジェクト担当・研究主任 荒川
tel 043-290-2493 (代表) e-mail arakawa@chiba-u.jp

